

2016年8月22日

北海道知事 高橋はるみ 様

日本共産党北海道委員会 委員長 青山 慶二
日本共産党北海道議会議員団 団長 真下 紀子

台風・低気圧による被害状況の把握と対策に関する緊急申し入れ

17日の台風7号に続き21日に11号が北海道に上陸しました。連続して台風が北海道に到達するのは、観測史上初めてといわれています。降り続く雨で土砂崩れや増水による河川の氾濫、床上床上浸水など、台風・低気圧により道内全域にかけて大きな被害が発生しています。

さらに台風9号が今後、関東を北上して明日23日に北海道に上陸する恐れがあり、引き続き警戒と万全の備えが求められます。

河川や海岸の堤防、港湾、学校などの各種施設、上水道といったライフラインの復旧は、二次災害を防ぎ、人命確保からも急がれます。

道路や農業などの被害も深刻です。東川町では天人峡温泉に通じる道道が陥没し、通行止めになるなど、行楽シーズンを前に安全確保と対策が求められます。

先の台風7号被害で、日本共産党が被災者を見舞い、被災実態の調査をすすめるなかで深刻な実態が明らかになっています。

流れ込んだ大量の土砂と、押し流され倒れた鹿よけを早期に復旧してほしい（本別町）、何度か水害があったが堤防を越水し、これだけの戸数が浸水したのは初めて（足寄町）、利別川の増水で足寄川の流れが止まり溢水、両河川は河川改修がおこなわれてきたが災害を受けた改修計画の見直し・強化を（足寄町）、道管理河川が溢水し、水田やハウスに流れ込む被害が出ていて対策を急いでほしい（東神楽町）など、収穫直前の作物に大きな被害が出ています。

これまでの被害と台風9号の北海道上陸に備えた対策を、緊急に要望するものです。

記

1. 道は、国や市町村との連携を密にし、被害・被災の実態把握と安全確保に全力をあげること
2. 人命確保の観点から、土砂崩れや河川の決壊などの防災体制を引き続き強化すること
3. 孤立した住民や観光客の移動を確保すること。道路、河川や海岸の堤防、港湾、学校などの各種施設、自治体の上水道といったライフラインの復旧を急ぐこと
4. 水田や畑地への土砂の流入、農作物の大幅減収予測、停電による搾乳作業の中断など酪農生産者への影響も出ている。よって、農林水産業被害の把握と対策を急ぐこと
5. 早期災害復旧に必要な土嚢や資材、人員の万全な確保に最大限の努力をすること

以上